

シビックプライドトーク
アートはひとをつなぐ

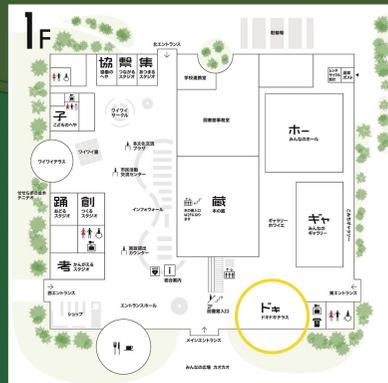
【申し込み方法】 参加無料

会場での観覧は先着40名限定です (Zoom参加:500名)
開催日の12:00までに、Eメール(g-mediacosmos@city.gifu.gifu.jp)
または電話(058-265-4101)、もしくは1F総合案内にお申し込み
ください。
Zoomでの参加を希望される方は申込みの際にその旨お伝えください。

申込みはこちらから



アーティスト + 岐阜市長



みんなの森 ぎふメディアコスモス
岐阜市司町40番地5 tel:058-265-4101

- ◆電車でお越しの場合
JR岐阜駅または名鉄岐阜駅より徒歩約25分
- ◆バスでお越しの場合
「市役所・メディアコスモス西」バス停下車すぐ
「市民会館・裁判所前」バス停下車すぐ
「市役所・鶯谷高校口」バス停より徒歩3分
JR岐阜駅または名鉄岐阜駅から約15分

主催：岐阜市

参加無料
要申込・先着順 定員40名 (Zoom参加500名)
2021 6/12 (sat) 14:00~16:00 開場13:30
会場：みんなの森 ぎふメディアコスモス1F ドキドキテラス

第1部 14:00~15:00

<出演>

ひと・暮らし・まち・アート



文化屋 福富 梢

文化のある暮らしの提案について

加納高校美術科卒業。静岡文化芸術大学4年生。
劇団かこの・演劇ニッケルで演劇活動をしなが、文化屋を起業。
「文化のある暮らしの提案」をコンセプトとし、
現在は主に若手アーティストの作品を柳ヶ瀬のマルシェイベント等で販売
している。



ペインター MADBLAST HIRO

パブリックアートによる街への貢献

岐阜を拠点に壁画制作・ライブペイント・展覧会を行う。
柳ヶ瀬高島屋南商店街にて路上アートギャラリーのプロデュースを4年間行
い県内外16名の作家、計52点の作品を商店街内に展示。岐阜織維問屋街で
は、高さ16mの壁画を製作。通路内の壁画製作にも携わる。独自の模様を
ブロックのように積み上げる表現を使い具象と抽象の狭間の表現を突き詰め
る。



油彩・アクリル画家 新井 真允子

アートを鑑賞すると思考力が高まる？

色彩に重点を置き制作している。「幼少期に触れた色が潜在的に好きで使いや
すい」と聞いたことがある。私の色はきっと、岐阜の豊かな自然の中で育まれ
た感性によるものだと思う。主に動物を描いている。最近は絶滅危惧に指定さ
れている動物と彼らの環境、自分が感じた事を表現している。また色々な経験
を積む中で「アートで地域貢献したい」という想いが芽生え、数年前から制作
の信念のひとつとしている。



画家・美術活動家 加藤 誉使子

元美術教諭がアートで仕掛けるまちと未来

Atelier+Artgallery Lucca445代表
東京造形大学美術学部1類卒業。岐阜県高等学校美術科教諭として28年間に
わたり奉職。2017年早期退職後、起業。柳ヶ瀬商店街にあるレトロなビルを
リノベーションした「ロイヤル40」にAtelier+Artgallery Lucca445を構え、
そこを拠点として、作品制作・展示プロデュース・イベント・ワークショップ
の開催など、美術に関わる様々な活動を、まちの中でまちづくりの一環とし
て展開している。

第2部 15:00~16:00

<出演>

保見アートプロジェクトから考える
まちとひと アーティストとの対話



柴橋 正直
岐阜市長

<市長メッセージ>

アートには人と人をつなげる力があ
ると思います。そういう意味でまちづ
くりとアートは親和性が高いと言え
るでしょう。

まちの中や、メディアコスモスのよ
うな多様なひとの集まるパブリックな
場所にアートにつながる人や活動があ
ることが、新たな出会いや会話を生み
出し、暮らしを豊かにしてくれるのだ
と私は思っています。

シビックプライドトーク
アートはひとをつなぐ



吉成 信夫

ぎふメディアコスモス総合プロデューサー

1956年、東京生まれ。コンサルティング会社などを
経て、96年に岩手県に移住。石と賢治のミュージア
ム研究専門員を経て、2001年に廃校を利用した「森
と風のがっこう」を開校。03年から7年間、岩手県
立児童館の初代館長を務めた。NPO法人岩手子ども
環境研究所理事長。15年より岐阜市立図書館の館長
を務め、20年より現職。



中島 法晃

美術家・岐阜女子大学文化創造学部講師

東京藝術大学美術学部彫刻科卒業。名古屋大学大
学院教育発達科学研究科教育人類学領域修了。
現代を生きる芸術家の実相についてオートエスノ
グラフィーによって研究をしている。2020年には
豊田市保見団地においてアートプロジェクトを
企画・運営し、アートをとおして多国籍の住民ら
のための交流の場を創出した。